

職員による自己評価

A環境面
環境面では特に問題はないと考えている。

B児童への支援内容
現状の療育を継続しながら改善を進めていく。
また、もっと保護者からの要望などもヒヤリングをして支援に反映していく様にする。

C関係機関との連携
関係機関との連携は今後の課題として検討していく必要がある。人材に余裕なく、その部分からの検討も必要となってくる。

D保護者への説明責任・信頼関係
メール、電話、連絡帳などを使用して密に連絡を取り合い信頼関係を構築している。今後は、もっと ITC などを利用して支援を展開していくように検討していく。

E非常対応
日々の連絡会で非常勤の指導員を含め情報共有を強化していく必要がある。

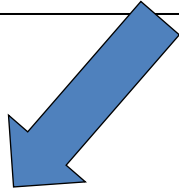
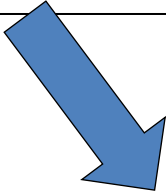
保護者による評価

A環境面
回答者の9割以上が環境は良いと考えている。

B児童への支援内容
回答者の殆どが特に問題はないと考えている。

C事業所からの情報発信
特にコメントはない。

D非常対応
特にコメントはない。



事業所内での分析

【共通点】
保護者との関係が良くなるにつれて支援にもその関係が反映されよい支援ができるようになっている。保護者対応は、今後も継続していき、デイでの様子や家庭の様子などの情報を交換することでよりその子にあった良い支援に繋げていきたい。

【相違点】
スタッフが子どもの支援にとられ、スタッフの外部との研修が難しい。学校でもない、家でもない居場所作りがまずは重要と考えているが、保護者からの要望は学習支援を強く望む方がおられる。まずは、指導員との信頼関係や、居場所の確保を第一としてそれからそれぞれに合った学習支援に進めていきたい。

分析・検討してみて…

事業所の強み

環境のよさ。
児童、保護者との信頼関係の強み
ベテランの指導員がいる

事業所の改善点

情報の共有化を非常勤の指導員も含めて強化
していく。

事業所の改善への取り組み

外部に多く有る療育や習い事などを取り入れ、色々な経験から養育を進めて行くようにする。
母親支援に関しては、保護者との関係をさらに強く構築していき、その子に合った療育を進めて
いく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者との関係が療育には重要であることがさらに理解できた。今後も保護者との関係を
強くして、保護者やそのお子さまに合った療育を提供できるように現場の環境を整えていく。

事業所名 カルチャーズデイ

担当者 宮城信子
